

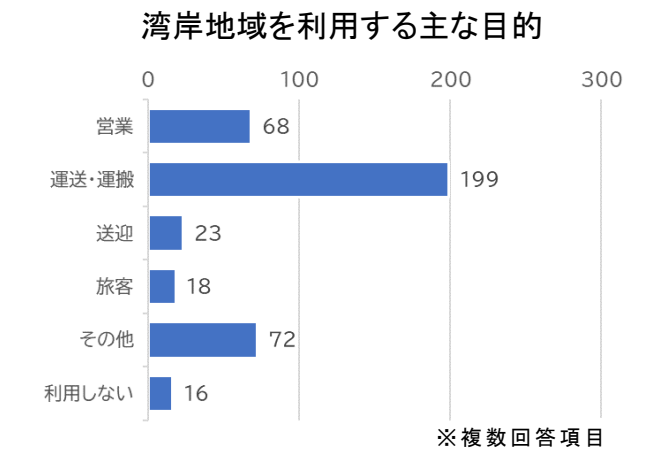
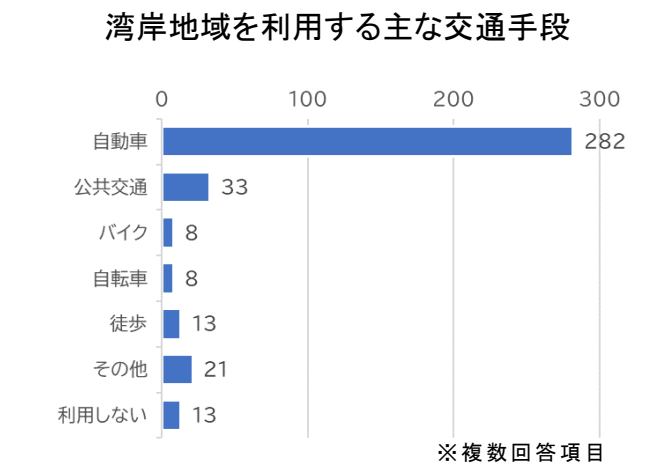
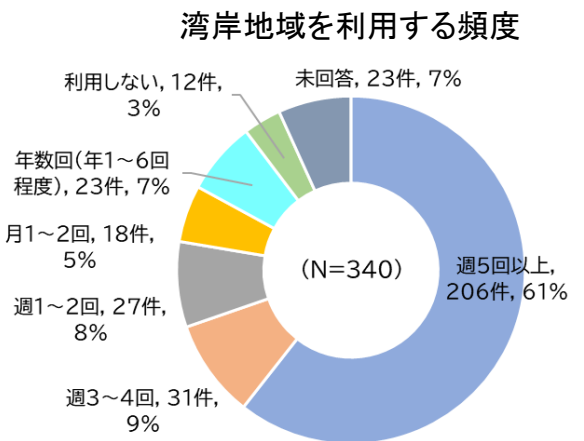
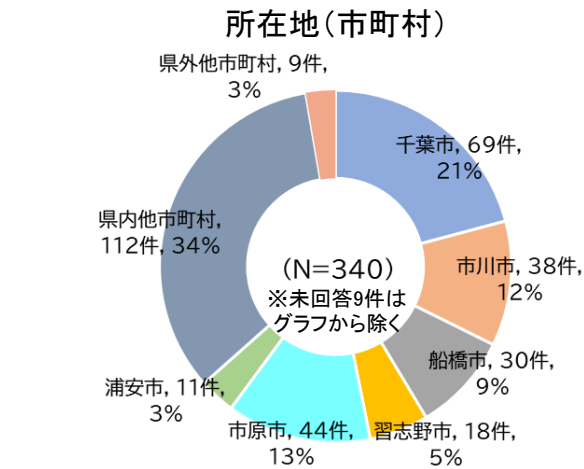
(1) 意見聴取の結果（関係者ヒアリングの集計①）

- 湾岸地域に立地もしくは湾岸地域の道路利用が想定される企業・組織・団体等にアンケート票の送付（地元経済・商工業団体や漁業関係者等には個別説明）を実施し、340社・団体から回答を得た
- 湾岸地域の道路利用頻度は、「週5回以上」が最も多く約6割、次いで「週3～4回」の約1割であった
- 主な交通手段では、「自動車」が最も多く全回答の約8割を占め、次いで「公共交通」が約1割であった
- 主な目的では、「運送・運搬」が最も多く全回答の約6割を占め、次いで「営業」の約2割であった

■ 関係者ヒアリングの回答集計

主たる業種	件数
農業・林業	0件
水産業・漁業	3件
鉱業	2件
建設業	7件
製造業	36件
電気・ガス	6件
運輸・通信業	194件
卸売・小売・飲食業	2件
金融・保険業	2件
不動産業	5件
サービス業	8件
学校・教育関係	44件
医療関係	4件
警察・消防	8件
施設管理者（港湾・公園など）	7件
その他	21件

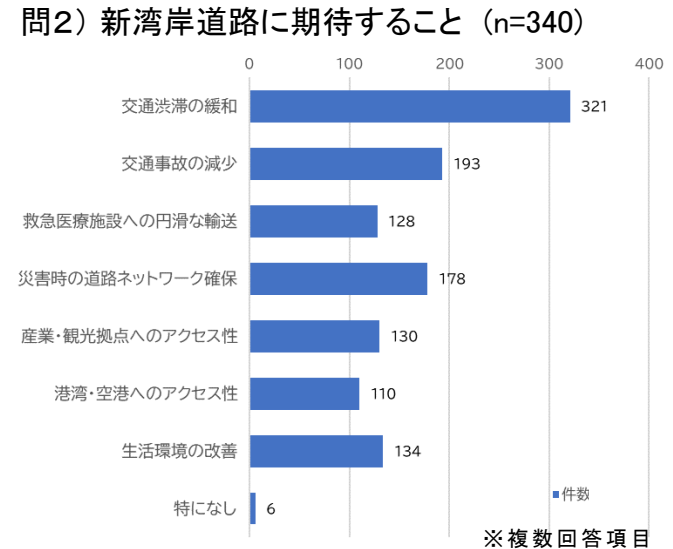
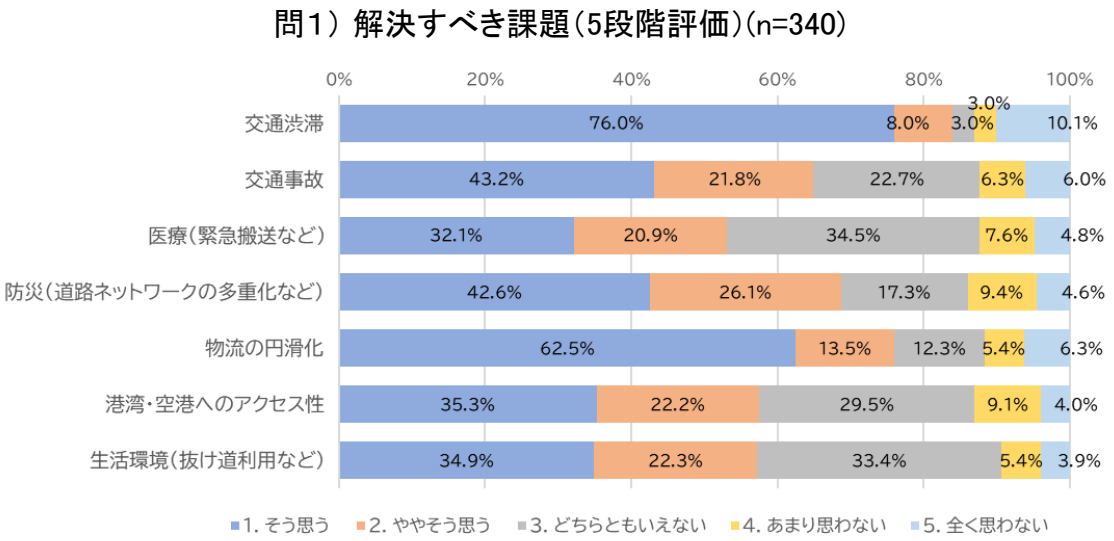
※ 複数業種を選択した企業があるため、回答数の340件と合致しない。



(1) 意見聴取の結果 (関係者ヒアリングの集計②)

- 湾岸地域の解決すべき課題は、「交通渋滞」、「物流の円滑化」を挙げる企業が多かった
- 新湾岸道路に期待することは、「交通渋滞の緩和」を挙げる企業が最も多く、次に「交通事故の減少」、「災害時の道路ネットワーク確保」を挙げる企業が多かった
- 新湾岸道路について配慮すべきことは、「豊かな自然環境(三番瀬等)の保全」、「生活環境の保全(騒音・振動など)」を挙げる企業が多かった

■アンケート回答集計 (課題、期待、配慮)



問3) 新湾岸道路について配慮すべきこと (n=340)

